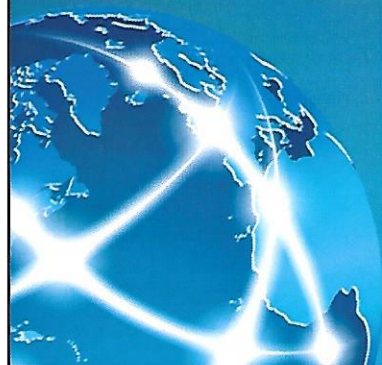


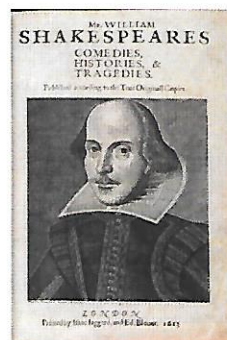
ビジネス戦士から 社会貢献事業の世界へ



2014年11月11日
グローバル教育研究所勉強会
北里光司郎
国際キワニス 国際理事

世界に眼を見開かせてくれた田舎の先生

- 終戦直後、熊本の田舎の小学校の先生が読んでくれたシェークスピアの「ベニスの商人」の本が、私の眼を世界に見開かせてくれた。
- 高校時代は英米の原書をむさぼり読んだ。
- 大学でも世界を志向する気持ちが更に高まった。



富士通で学んだ37年間のビジネス

- 最初の10年間は、人事教育、社内コミュニケーション、IT教育等、国内志向の仕事ばかり。
- 10年目に社長プロジェクトとして1971年ハワイ州NPO法人教育機関JAIMS設立の責任者に指名された。それを契機に海外事業活動に関わることになった。

FUJITSU

3

ハワイ日系人との出会い

- Howard Y. Miyake ハワイ衆議院院内総務
 ハワイ第100大隊の勇士
- George Ariyoshi 日系人初のハワイ州知事
- Fujio Matsuda 日系人初のハワイ大学総長
- Hideto Kono ハワイ州計画開発局長



George Ariyoshi



Dr Fujio Matsuda

JAIMS

4

大和魂をもった米国人

- 日本人より日本的な大和魂をもった米国人
- 貧乏な生活から立ち上がり、日系人としてのDNAと米国への忠誠心の間での葛藤を克服し、第100大隊、第442連隊の戦士として、勇猛な戦闘を行い、その戦果が認められ、退役軍人として得た奨学金で大学で学び、議員として立候補し、法律を変え、白人中心の社会を多民族の社会に変えて行った。
- そのfighting spiritから多くを学んだ。



5

英米人と全く発想の違うスペイン人

- 1979年スペイン政府、スペイン電話公社との国策合併事業の代表として駐在。
- 英米人とは全く違った発想、文化の人達との出会いに戸惑いながら、今まで経験していない新しい世界があることを認識した。
- スペインでの4年間は、私の人生観と世界観に大きなインパクトを与えた。因みに渥美先生の文化の世界地図ではモラルコードの国である。



6

Fairnessのルールを重んじる英国人

- 1991年から4年間英国グローバルIT企業ICL社の富士通代表を務めた。売上5,000億円、世界50カ国に25,000人を擁する企業のグローバル経営に参加。
- CEOのSir Peter Bonfieldから Software & Service Businessの在り方及びOpen, Fair & Radicalな経営の進め方、特にMinority Shareholdersに対するFairな経営の進め方を学ぶ。



7

British Telecomへの転出

- 1997年ICL社のCEO Sir Peter BonfieldがBT (British Telecom)のCEOに就任し、それに伴い、BTJapan代表取締役会長にヘッドハントされた。BT Global Advisory Board Memberも務めた。BTはダボス会議の主要メンバーで、環境、CO₂削減、ダイバーシティ、ワークライフバランス等の社会問題への貢献にも積極的な貢献活動を行い、グローバル人材の輩出企業である。英国企業のグローバル経営を学んだ。



8

PoweredComの経営再建

- 2004年東京電力を主要株主とし各電力会社、三井、三菱、住友各商社の合併による通信企業PoweredComの再建を引き受ける。代表取締役会長に就任し、従業員2,500人、売上2,500億円の赤字250億円の企業を18か月で250億円の黒字企業に再建し、KDDIに売却。
- 今でも当時の若者達と年に2回のゴルフと年数回の懇親会でつきあっている。



9

日本企業のグローバル化の問題

- 最初から世界を向いていない。
アメリカはDefacto Standard戦略、欧州は標準化戦略、日本は国内で成功した製品を世界に出す2ステップ方式
- NIH(Not Invented Here)の発想が障害となっている。
- 1985年のプラザ合意までは、負ける気がしなかった。円高で一気に競争力が落ちた。
- グローバルビジネスを担当する国際本部、国内顧客を担当する国内組織、その2重構造の上に立つ天守閣の本社組織がグローバル化しない限り、日本の真のグローバル化はない。
- ★ 日本強みの、顧客を徹底的に大事にする顧客志向、徹底した品質志向と柔軟な対応力。全体で世界に向かう時。

10

世界の子どもを支援するキワニス

- ロータリークラブ、ライオンズクラブと並び称される世界3大社会奉仕団体の一つ。
- キワニスは、子ども支援に特化しているのが特徴。
- 1905年にロータリー、1915年にキワニス、1917年にライオンズが設立された。いずれもアメリカ東部地域が発祥の地。
- キワニスは来年100周年を迎える。日本は今年50周年を迎えた。



11

私のキワニス歴

- 2000年 入会
- 2009年－10年 東京キワニスクラブ会長
- 2011年－15年 エリミネイト・プロジェクト
日本地区コーディネータ
- 2012年－13年 日本地区ガバナー
- 2013年－14年 第99回国際年次総会
ホストコミティ委員長
- 2014年 国際理事に就任



Kiwaniis®

12

キワニスクラブについて

- 1915年 デトロイトで設立。
- キワニスとは、アメリカ原住民の言葉で「皆で集まって仕事をしよう」という意味。
- 世界のキワニス会員は25万人、ユースクラブ会員を入れると63万人。
- 日本には50年前1964年東京オリンピックの年に進出し、現在30のクラブ、約1,800人の会員。
- 「世界の子ども達を支援しよう」がモットー。世界から妊産婦・新生児破傷風を撲滅するエリミネイト・プロジェクト等をユニセフと共同で推進。

ELIMINATE
maternal/neonatal tetanus
Kiwanis | unicef

13

国際理事の任務

- 任期:2014年10月－2017年9月迄3年間
- 海外出張:年8回 電話会議 2週間に1回程度
- 担当地区:カウンセラーとして3地区を担当、初年度は、Pennsylvania, Michigan, 韓国
- 役員の数:全世界から20名
- 報酬:なし。実費支給と日当のみ。
- 出席の70%は夫婦同伴
- 選任の方法:国際年次総会での選挙
- 日本人の国際理事:3人目



14

ロータリークラブ

- 1905年にシカゴで最初のクラブが誕生。
- 職業を通じての社会奉仕と国際親善が目的。
- 当初1業種1人が原則だったが、今はその縛りは緩められた。
- 全世界に30,000以上のクラブを擁し、会員数は約120万人。
- 日本では1920年に設立。クラブ数約2300. 会員約9万人。
- 最も歴史と伝統のある社会奉仕団体。



15

ライオンズクラブ

- 1917年シカゴで誕生。
- 全世界で45,700のクラブ、会員数は134万人、日本国内で3,300のクラブ、会員数は約11万人。
- モットーは、We serve (われわれは奉仕する)
- チームワークを重んじた地域密着の社会奉仕活動が特色。
- 国際交流の一環としてホームステイを含む交流プログラムがある。



16

その他のグローバル社会奉仕団体

- Save the Children 1919年第一次世界大戦で荒廃した欧州で敵国の子ども達の援助も含めて行うことを、英国人女性エグラタイン・ジェブが提唱。
ジュネーブ子ども宣言を国際連盟で採択。
日本でも東日本被災地で活動。
- 国際ソロプチミスト 女性だけの社会奉仕団体。
日本でも活発に活動している。

17

国際連合児童基金 Unicef

- ニューヨークに本部を置き、大戦後子どもを対象とした緊急援助を行い、日本も戦後子どもの栄養補給の支援を受けた。
- キワニスはユニセフと多くのプロジェクトで協力関係を持っている。
- 日本にはユニセフ東京事務所と日本ユニセフ協会がある。日本ユニセフ協会が進めるマンスリー・サポート・プログラムは毎年200億円の寄付を集め世界トップの実績を上げている。



18

アメリカのNPO

連邦政府の前にコミュニティあり

- アメリカは17世紀初頭より欧州からの移民が各地でコミュニティをつくり、連邦政府の成立以前から、市民がコミュニティに必要な施設をつくって来た。その歴史がアメリカのNPOである。
- NPO従事者は1,250万人、免税措置を受けるNPO団体数約130万。この25年で2倍に増えている。有力な雇用創出主体。ドラッカーも今後の主たる雇用主体としてNPOを上げている。

19

アメリカのNPO

国家予算の10%の寄付

- 2002年寄付総額 \$2,409億のうち、個人の寄付76.3%、\$1,837億、国家予算の10%。
- 全世帯の89%が、家計収入の3.1%に当る年間 \$1,620 を寄付に当てている。
- 企業及び企業財団による寄付は5.1%に過ぎない。
- ボランティアを行っている21歳以上の成人は8,390万人に達し、その成人人口に占める比率は44%。年間の労働価値はフルタイム勤務の900万人の労働者の労働価値に匹敵し、\$2,390億の評価額に達する。

20

日本におけるボランティア活動例

女性がリードするボランティア活動

- かものはしプロジェクト 児童買春撲滅 村田早耶香
- カタリバ 大学生を使って高校生を元気づける 今井久美
- Bridge for Smile 児童養護施設から巣立つ子ども達を支援 林恵子
- Kids Door 貧困の連鎖を断つ 渡辺由美子
- JEN 紛争地域で難民支援 木山啓子
- Table for Two 先進国の肥満と後進国の飢餓を同時に解決する 小暮真久
- 1995年阪神淡路大震災が日本のボランティア元年、2011年東日本地震津波大震災によりボランティア活動の気運が一気に高まった。

21

英国で経験したボランティア活動

汗を流して募金をする

- Swim marathon
- キリマンジャロ登山ドネーション
- 行方不明者を助ける活動
- 小児がん救済活動
- ロンドンマラソン
- ロンドン2012・ボランティア



22

新たに広がる社会貢献「プロボノ」

- 職業上のスキル・知識・経験を活かして社会貢献するボランティア活動。弁護士が無報酬で法律相談に応じることから始まった。
- アメリカの弁護士は年50時間以上プロボノ活動を行うことがアメリカ法曹協会により推奨されており、他の業種分野にも拡大している。
- 日本でも弁護士、中小企業診断士等の災害地域復興支援等でプロボノが広がっている。
- 今後若手社会人のスキル活用したNPO活動として拡大の見込み。



23

まとめ

- ◎ 子どもの頃の夢は必ず実現する。
- 人の出会いが世界を拓けてくれる。
- 社会貢献は人生を豊かにする。忙しい時期から始めたが良い。
- 職業的能力をしっかり磨く事により社会貢献の機会が多くなる。
- グローバリゼーション、ダイバーシティ、ITリボリューションが社会貢献活動に変革を与えている。
- 個人の意識の向上がこれからの団体、企業による社会貢献活動に変革をもたらすだろう。
- 日本では大震災以来お互いに助け合う意識が向上している。この意識を世界に向けよう。



24